

校訓 「 研学・高邁・潑刺 」

めざす学校・生徒像	学校教育目標・スクールミッション
1 主体的で協働的な深い学びや探究的な学習の充実を図ることで、自走して学力を向上できる生徒の育成をめざす。(授業・探究学習・SSH 事業等) 2 自身の生き方を探求しながら進路を選択し、実現に向けた行動ができる実行力を育む。(進路指導) 3 協働的な活動の充実を図り、望ましい人間関係を形成できる生徒を育てる。(生徒指導・生徒支援) 4 ICT を活用した教育活動に取り組み、DX 時代を生きるために必要な資質・能力の獲得をめざす。(DX・ICT) 5 心理的安全性のある環境づくりと安全な教育活動の実践に努め、生徒の自己指導力を育成する。(安全)	学校教育目標 高い志を掲げ、「研学・高邁・潑刺」の校訓のもと、自律して生きる力を高め、これからの社会に自ら寄与できる人間 スクール・ミッション ○次代を担うグローバルリーダーとして、新たな社会的な価値の創造と科学技術分野の発展に貢献できる生徒の育成 ○生徒の興味・関心、進路希望に応じて柔軟に教育課程を編成し個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成 ○確かな学力と広い視野を持ち、主体的に学び、自律して社会に寄与する生徒の育成

項目	重点事項	目標達成のための評価の観点（学校評価）
学校経営・運営	信頼・尊敬される学校づくり 【経営方針】 スクールミッション・ポリシーに基づく教育活動の実践 【学校評価】 学校評価を活用した PDCA サイクルによる改善 【環境整備】 教育環境(施設・設備・予算・人員等)の整備 【情報発信】 学校教育活動の情報・成果の発信 【不祥事防止】 服務規律、規定の厳守、互いの心境に配慮した対話	□スクールミッションの実現にむけた教育実践が、スクールポリシーに基づき全体で推進されている。 □学校評価の観点を意識した教育活動が実践されている。 □施設・設備環境、予算等について、安全と魅力化の観点から改善に向けた調整に努めている。 □HP、説明会、発表会、生徒の外部連携活動等をとおして、生徒の活動とその成果を広く保護者、中学生、地域に発信している。 □服務規律に係る継続的な告知や研修、内部牽制等により、不慮の事故、不祥事の防止に努めている。
	組織の活性化 【組織連携】 教員間、各組織間の連携による柔軟な協働体制の構築と、同僚性の向上 【運営参画】 魅力的な教育活動の展開に向けた職員参画とチーム教育の実現 【働き方改革】 超過在校時間 4 5 時間以内を目指す業務・体制整備、意識改革等	□各組織間、教職員間の対話による情報共有と調整が図られ、学校としての教育活動が円滑に進んでいる。 □職員は積極的に学校運営に参画し、相互に尊重し合いながら建設的に魅力ある学校づくりに努めている。 □働き方改革に向けて業務の合理化やスクラップ、分業、DX、アウトソーシング、意識改革等は進んでいる。
	研修 【研修】 新しい時代に対応できる教職員の資質・能力の向上に向けた研修の推進 【研鑽】 各自の年度の研修テーマの設定と学び合いの推進	□職員会議や打合せ等も活用した校内研修により情報が共有され、適切な教育活動が実施されると共に、OJT が機能している。 □各自が年度の研修テーマを設定し、校外研修やオンライン研修、web 研修等を活用した研鑽に努め、その成果を共有している。
教育活動	学習指導 【学力向上】 学力の三要素習得に向けた学習評価の研究と活用 【授業改善】 主体的に学ぶ意欲を喚起する授業の工夫 【教育課程】 生徒のニーズに応じた、単位制、SSH の特長を活かした教育課程の開発 【ICT 活用】 I C T の効果的な活用の実践と研修の推進	□評価の観点と目標を具体的に生徒に提示し、単元テスト等を活用して指導と評価の一体化に努めている。 □教科・科目において教材研究・授業研究を積極的に行い、授業の中にも生徒が主体的に活動する場面を意図的に取り入れる等、生徒の主体性を育む授業の実践に努めている。 □教育目標実現に向けて柔軟に教育課程の検討が行われている。 □学習指導において、BYOD やネットワーク、オンライン教材、AI 等の ICT を効果的に活用している。
	進路指導 【キャリア教育】 生徒のキャリア発達を促す組織的、系統的な指導 【受験学力】 個別の学習状況、学力課題の把握とフィードバック 【進路研究】 入試制度や大学・学部研究を促す取組の充実と受験指導の合理化の検討	□キャリア学習を学校として計画的に実践することで生徒の進路意識の高揚につなげ、進路実現に向けた実行力が向上している。 □学力調査、模擬試験等の分析を実施し、生徒及び教員自身へのフィードバックを適宜行い、それぞれが改善に努めている。 □入試制度改革に対応した指導の研究、検討が行われ、進学講習・模試等の受験指導の在り方について総体的な検討が進んでいる。
	生徒指導・健康・安全 【発達支持】 自立し共生できる生徒の育成に向けた、発達支持的な生徒指導の実践 【共生教育といじめ防止】 いじめの防止と望ましい人間関係を形成できる力の涵養 【教育相談と生徒支援】 教育相談体制の充実と教育的な支援を要する生徒への対応 【健康・安全】 健康・安全意識を高める指導の充実と心理的安全性の確保	□授業・HR・生徒会・特別活動等、あらゆる場面で支持的・予防的な生徒指導を意識的に実践している。 □「学校いじめ防止基本方針」を生徒・保護者に周知し、いじめを見逃すことなく組織的な対応を適切に実践している。 □年次、委員会、分掌、SC、SSW、医師等、多様な相談体制を整え、専門家とも連携したチームとしての生徒支援を実践している。 □避難訓練や環境美化活動、各種講話等の取組により生徒の自己管理能力やレジリエンスを育成している。
	探究学習・理数教育 【SSH 活用】 SSH 事業を活用した科学的専門性や向学心、課題探究能力の育成 【人材育成コンソーシアム】 外部の教育資産を活用した専門性の高い学習の場の提供 【SSH4 期申請】 SSH4 期指定獲得に向けた目標の共有と事業計画の策定 【探究の時間】 探究基礎・課題探究・SS 研究の時間等による教科横断的な学びの推進	□SSH の取り組みを活用して生徒の向学心や専門性を向上させ、探究力・創造力の育成に努めている。 □人材育成コンソーシアム等の外部資産を活用して、専門性、社会性の高い多様な探究・研究活動が展開されている。 □SSH4 期の目標が全体で共有され、具体的な教育課程の運用策と魅力的な事業計画の策定作業が進捗している。 □理数科、普通科ともに探究のプロセスを学び、それぞれの特長を活かした課題を設定した上で、各教科での学びを活かした探究・研究が推進されている。

